

ふりがな 氏名	いしかわ よしこ 石川 佳子	都道府県	香川県	
所属/肩書	香川県立観音寺中央高等学校 教諭			
私のESD活動	学校と地域がコラボした地域活性化 ～年に1回のお祭りを通して変わる地域の姿～			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

【学校と地域のコラボ】

前任校の岡山県立林野高等学校の取り組みの中で、ESDの視点を取り入れた問題解決型の学習である「総合的な学習の時間」に力を入れてきました。林野地区は岡山県北部の中山間地域に位置し、過疎化の問題を抱えているため、「持続可能な地域社会を創る形成者」を育てる活動に取り組んでいます。

平成26年度は人と人、人との、人と自然、人と社会といった「つながり」を意識した活動を中心に行いました。生徒は地域における問題を地域に実際に出向き、地域の方との交流を通して探っていきます。特に、学校の近くには商店街がありますが、現在は高齢化で活気がなくなっています。高校生は自分たちが生まれ育った地域に活気を取り戻そうと、どのようにしたら地域が活性化するかをテーマに活動し、その実践・探究の場として毎年9月に地域の方と高校生が共同で行うお祭り「むかし倉敷ふれあい祭り」があります。一昨年は地域の方に昔から愛されてきた「代官踊り」の復活を高校生が地域の町内会長さんたちに働きかけ、地域の方を学校にお招きし講習会を行いました。また、商店街のお店を生徒が手伝い威勢の良い声で呼び込みを行い、空き店舗を活用して高校生がお店をするなど、地域を盛り上げようと生徒と地域の方が一丸となって活動を行いました。学習のまとめとして、9月のお祭りで課題や発見を学校に持ち帰り探究し、年度末にはレポートをまとめ、報告会を行いました。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

私は家庭科教員として、現勤務校にてESDの視点を取り入れた家庭科教育を行いたいと考えています。その中でも「食と環境」「衣服と環境」「住居と環境」といった環境教育に力を入れ、自己の家庭生活が地球環境にどのような影響を与えているのかを考えさせ、持続可能な社会を創るためにはどのような活動ができるのかについての問題解決型の授業を行いたいと思います。考えたことをホームプロジェクトなど家庭で実践し、友人・家族・地域に働きかけ、巻き込めるような実践活動にしたいです。成功体験を積み重ねて、ESDは様々な人や社会やものと繋がることのできる楽しいものであることを実感し、ESDを好きになってもらいたいです。そして、家庭科教員としてESD活動全体が盛り上がるように、未来を担う若いESD実践者を増やしていきたい。